

の 市報

No.114 12月号

昭和43年12月1日発行

編集 秘書企画課
発行 岐阜県美濃加茂市
美濃加茂市太田町
☎(0574)5-21110

人口の動き

11月1日現在

総人口 34,633人
男 17,021人
女 17,612人
(昨年同月34,083人)
世帯数 7,785戸
(昨年同月7,617戸)
住民登録人口より

未来への願いをこめて

市内で記念植樹されたおもしろところ

各小中学校
公立保育所
太田町 太郎八神社境内
古井町 下古井公民館前
本郷町 耕地整理碑前
山之上町 忠魂碑前(連絡所南)
忠魂碑前(連絡所南)
馬場兼太郎記念碑前
蜂屋町 忠魂碑前
加茂野町
伊賀町 井上多十郎顕彰碑前
三和町 上川浦八幡神社境内
下米田町
先賢者顕彰碑前(徳雲寺)



市役所前に県の木「いちい」を記念植樹する岸市長、三浦議長、大野助役

として保存しておいてください。またお役にたつときがあると思います。

12月の

広報メモ

十二月は、師走(しわす)という和名があるように、いろいろと忙しい月です。月のはじめに、家事の手順をきめて、手ざわよくすませ、すっきりした気分での新しい年を迎えましょう。さて、今月は1日、二十周年記念消防大会、太田小学校庭、体力づくり歩け歩け運動会、美濃加茂大会、ライン公園、歳末たすけあい運動会、2日、選挙人名簿登録申出期限、4日、人権週間開始、7日、大雪、加茂駅伝監督会議、午後一時、加茂駅事務所、8日、選挙人名簿閲覧(十四日まで)、各連絡所と市役所選管、10日、世界人権デー、13日、商店巡回指導開始、15日、家庭の日、年賀郵便特別扱い開始、加茂駅伝、出発11年前十時、一般白川、中学七宗、決勝、東中学校午前十一時三十分ごろ、16日、青色申告最終指導、22日、冬至、23日、皇太子誕生日、24日、クリスマスイブ、26日、小中学校二学期終業式、28日、官庁、会社御用納め、31日、年越し、大みそか、除夜の鐘、よいお年をお迎えください。

意義高い明治100年記念式典

朝日金松さんら高齢者と 功労者らを表彰



市長から表彰を受ける功労者たち

◆……市の明治百年記念式典は、十一月二十三日中央公民館……
◆……館で、市内の公職者、各種団体役員、小中学生代表……
◆……約五百人が出席して盛大に行なわれ、同式上、地域の……
◆……振興発展に尽力された次の人たちが表彰されました……
式典は、大野助役の開式のこと
ばで始まり、「君が代」「美濃加
茂市の歌」を全員でせい唱しまし
た。

このあと、岸市長は「明治改元
満百年にあたり、この百年間に、
先人が築きあげた輝かしい歴史を
顧みて、その尊い経験と教訓を、
発展途上の大美濃加茂市建設に生
かし、広い視野にたつてこれから
百年にのぞむ決意を確固たるもの

功労者表彰（敬称略）

(1) 多年地方自治の振興、
発展に貢献された

被辺栄一（衆議院議員・前市長）
被辺郷一、堀江正一、仙田鶴次、
則竹敏夫（以上太田町）、被辺茂
三郎（川合町）、細野雄夫（森山
町）、高橋行一（本郷町）、大野
純一、山田肇、西田茂、大野藤市
佐口明治郎（以上山之上町）、堀
部忠雄、日江井正利、三浦利雄、
春見森一（以上蜂屋町）、森田茂
三郎、森要一、高井清一郎（以上
加茂野町）、木沢惣吉（伊深町）、
荏加金次、朝日貞吉（三和町）、
被辺文雄、山田近良（下米田町）

(2) 産業の開発、
振興に貢献された

米田用水土地改良区、森山用水
土地改良区、桐井教一（太田町）
佐口佐太郎（山之上町）、名古屋
与三郎（加茂野町）、板津謙治郎
（古井町）、被辺昭一（太田町）

(3) 社会福祉の増進
民生の安定に貢献された

佐藤五一、浅野信子、浅野亮一
（以上太田町）、佐々木澄子（加
茂野町）

(4) 保健衛生の改善
向上に貢献された

木沢根治（古井町）
(5) 教育・学芸・体育・その他
文化の振興に貢献された

坪内通通顕彰会（太田町）、尾
関公見（下米田町）、酒向東雄（
富加村）、被辺郷夫（太田町）、堀地
省三（加茂野町）、板井博太郎、
天淵藤夫（以上富加村）、西村恵
弘（川辺町）、村井武市（蜂屋町）
佐々木縁三郎、横山嘉広、加藤さ
んよ（以上太田町）、佐藤忠夫（
古井町）、内木楓（蜂屋町）、酒
向正雄（山之上）

(6) 納税・貯蓄に貢献された
（十年連続市税全町完納）
加茂野町自治会

(7) 防災に貢献された
堀部松太郎（蜂屋町）、神明自
警隊（古井町）

(8) 高齢生存者（九十歳以上）
三品こま、鹿野長太郎、兼松せ
い、木村すゑ、後藤き美、古川た
つよ（以上太田町）、山田きたよ
（本郷町）、被辺かく（野依町）

大野よう（森山町）、井戸宮之助
（山之上町）、美濃輪みよ、川合
金左エ門、堀部芳五郎、三輪りく
（以上蜂屋町）、板井すず、開宮
ひさ（以上加茂野町）、朝日金松

（三和町）、井戸嶺五郎、福田は
るの、被辺てい、山口かこ（以上
下米田町）

▽夫婦高齢者
尾石信太郎・なかよ（蜂屋町）

(9) 明治百年史
発刊に功労された

川合為一（蜂屋町）、板津善哲
一（加茂野町）、佐野一彦（伊深
町）、林亮三、小栗義八、神保州
郎（以上太田町）、堀田達雄（山
之上町）、桂川明夫（川合町）、
開宮瑞夫（下米田町）

朝八・一七豪雨災害で
功労のあった団体、個人

市消防本部、消防団第一分団（
太田）、第二分団（古井）、第三
分団（山之上）、第四分団（蜂
屋）、第五分団（加茂野）、第六
分団（伊深）、第七分団（三和）、
第八分団（下米田）、伊深町自治
会、三和町自治会、太田町自治会
古井町自治会、山之上町自治会、
蜂屋町自治会、加茂野町自治会、
下米田町自治会、市連合青年団、
日本ボーイスカウト美濃加茂第一
団・第二団、同岐阜県連盟、市連
合婦人会、加茂医師会、市仏教会
陸上自衛隊第十師団、同第三十五
普通科連隊、同第十機設大隊、同
中部方面航空ヘリコプター隊、加
藤一（川辺町）、立木幸男（板
津市森建設）

家族が総消防に

火事は最初の五分でまゐる

寒さがきびしくなると、本格的な火災シーズンに入ります。

美濃加茂市は、さきの八・一七集中豪雨で未曾有の大被害を受けました。この上に、また大火災が発生しては、それこそたいへんなことになります。

火事は、最初の五分間でまゐる……といわれているように、初期消火こそ、いちばんたいせつなことです。

ことしも、そして来年も火災が一件でも少なくなるよう、みなさんのご協力をお願いします。

市消防署の記録によると、大火災が発生したのは、明治三十四年十二月に、古井町川合地区で住家五十四戸全焼……とあります。

当時の記憶をまだ生々しく語られる人も市内には多くあると聞きますが、その頃を想像すると、部落のほとんどもが燃えてしまったように思われます。

市内ではこれ以後大きな火災は発生していませんが、文化生活が進むにつれ、いつ、どこから発生して大火災になるか知れません。また、痛ましい犠牲者を出さずか

いまこそ、家族みんなが「消防団員」になったつもりで、防火・避難体制をつくっておく必要があるようです。

ことし、市内で発生した火事は十一月二十八日までで二十二件で、七百三十一万円程度が灰になっていきます。

火事の原因を調べると、昨年に引き続いて、たき火、たばこの吸いがらの不始末、火あそびなどが上位を占めています。

恐ろしい火事を未然に防ぐため、次のことにご協力ください。

◇火事は一九番へ

(1) 火災を発見したら、すぐ初期消火につとめるとともに、消防署へ緊急電話（一九番）をしてください。この場合、電話のかけかたは要領よく「〇〇町〇〇自治会〇〇宅で火災が発生した、目標は〇〇小学校（たれにでもわかる所）の北（または南・東・西）」……としてください。

なお、初期消火には、いろいろの方法がありますが、ふだんから消火器（希望される方は消防署へ）を備えておくことや、バケツ二は

いの水を用意しておくのもたいせつなことです。

(2) たばこの吸いがらは、必ず灰皿に捨てるように心がけましょう。

(3) 石油・プロパンガスを使う場合は、使用方法、事故がおきたときの処置など、心構えをじゅうぶんに身につけてからご使用ください。

(4) 最近では強い地震が各地で発生しています。地震で最も恐ろしいのは火災が同時に発生するということです。まず、家にある火を消すと同時に、ガスなどは「もてせん」を止めてください。

(5) 家族の避難訓練を年内に一回ぐらいしておきましょう。

(6) 消防署などで発行された「火の用心」のチラシを、家族がみやす

いところにはってください。

第三回定例市議会

消防署移転費など可決

第三回定例市議会は、さる11月28日に開かれ、一般会計補正予算3,355万4千円など20案件を審議しました。

可決された一般会計の補正予算は、消防庁舎移転費ならびに用地購入費や、車中プール用地取得費など市民福祉に直結する重要事業が盛り込まれています。

北中と富加中が統合

市立北中と富加中（富加村）の組合立中学校を設立する案件が可決されました。これによると、統合中学は、来年四月一日から名目的に発足され、四十五年四月には両校の中央部にあたる富加地内に新校舎をたて、実質統合されることになっています。

北中と富加中は、年々生徒数が減ってきているため、市と富加村との間で、教育効果を高め適正規模校に……という立場から、統合問題が以前から話しあわれてきていました。

補正予算のおもなもの（歳出）

▽消防署が中央公民館前へ移転
消防庁舎移転費八十五万円、消防員出勤報償費六十七万五千円、庁舎用地購入費七百八十七万円。

現在消防署は、市役所庁舎一階車庫にありますが、消防車が緊急出勤する場合、国道二十一号線に出るまでの道路が駐車してある車などで狭く、おそくなるということが予想されていました。

このため、中央公民館前にある元信濃加茂支所の事務室と用地を購入し、消防署を移転しようというものです。消防車庫は、国道に面した所に作られます。（移転は来年一月ごろです）

▽教育委員（神代千尋（再）、浅野信子（新））
▽公平委員（山田盛一）
▽人権擁護委員（堀部通



消防署を見学する太田保育園児

加茂野で始まった構造改善事業



開通した宝泉坊トンネル



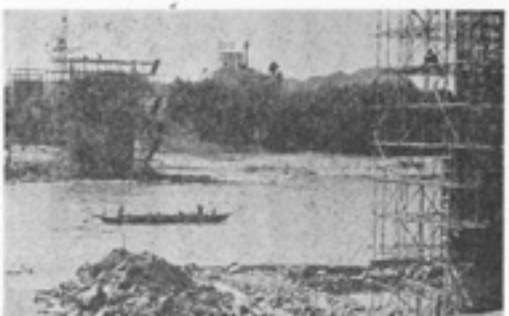
完成した牧野団地



開通した若宮・深田線



建設進む中濃大橋



一月

- 1日 三和町で、納治・水市自治会誕生(旧上川浦自治会)
- 5日 加茂野農業構造改善事業地鎮祭・起工式
- 6日 消防出初式、ライン公園成人式、東中学校体育館、千二十人が祝賀される。
- 15日 吉井小学校制定記念発表会
- 25日 市自治連合会総会、連合会長に丹羽角造氏(太田)を選出。
- 26日 市青年旗大会、下米田青年が最優秀。
- 28日 下古井郵便局開局。
- 31日 古井警察官駐在所落成。

二月

- 11日 第十一回市婦人会生活展覧会
- 19日 第三回市民スキー大会、郡上郡白鳥スキー場。
- 23日 宝泉坊トンネル開通(蜂屋町)
- 23日 山之上婦人消防クラブ結成される。
- 3日 市消防操法大会 ライン公園。
- 8日 市議会第一回定例会、一般会計に六億八千五百八十五万八千円、特別会計に一億五千九百四十七万七千円。
- 17日 第一回市民なわとび大会、会場は太田小ほか八会場。
- 31日 市警牧野団地十戸完成。

三月

- 8日 市農協会館しゅん工。
- 12日 中農ブロック身障者体育大会、太田小運動場。
- 13日 市議会第二回定例会、議長三浦利雄氏、副議長大矢好次氏を選任。
- 20日 青少年育成市民会議発足。
- 28日 市農協会館しゅん工。
- 10日 中農大橋 橋台工事始まる
- 28日 加茂野町先覚者顕彰碑除幕

四月

- 8日 岐阜美奈野専門学校開校(蜂屋町)
- 10日 中農大橋 橋台工事始まる
- 28日 加茂野町先覚者顕彰碑除幕
- 21日 市道若宮・深田線開通。
- 市道山手線四十一・二年度分完成(九百二十七坪)。
- 2日 美濃加茂ロータリークラブ認証状伝達。
- 9日 県下中学校選抜野球大会で、西中学校優勝。
- 15日 消防第四分団(蜂屋)に消防車入庫。
- 18日 市特設学級育成会発足。

五月

- 1日 古井地区(神明・中央新町大業を除く)が、新しい住居表示へ切り替え。
- 5日 新青柳橋取付道路起工式。
- 1日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 23日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 22日 加茂野小プール完成、プールの開き。
- 20日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。
- 11日 飛騨・木曽川国定公園記念切手発売される。
- 7日 参議院議員通常選挙投票日 投票率八十一・六三%。
- 10日 「蜂屋の歴史」で、蜂屋小神保明郎先生自費出版
- 20日 下米田難産保育所しゅん工
- 11日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。
- 7日 参議院議員通常選挙投票日 投票率八十一・六三%。
- 10日 「蜂屋の歴史」で、蜂屋小神保明郎先生自費出版
- 20日 下米田難産保育所しゅん工
- 11日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。

六月

- 21日 加茂野歩道橋しゅん工。
- 2日 美濃加茂ロータリークラブ認証状伝達。
- 9日 県下中学校選抜野球大会で、西中学校優勝。
- 15日 消防第四分団(蜂屋)に消防車入庫。
- 18日 市特設学級育成会発足。
- 1日 古井地区(神明・中央新町大業を除く)が、新しい住居表示へ切り替え。
- 5日 新青柳橋取付道路起工式。
- 1日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 23日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 22日 加茂野小プール完成、プールの開き。
- 20日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。
- 11日 飛騨・木曽川国定公園記念切手発売される。
- 7日 参議院議員通常選挙投票日 投票率八十一・六三%。
- 10日 「蜂屋の歴史」で、蜂屋小神保明郎先生自費出版
- 20日 下米田難産保育所しゅん工
- 11日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。

七月

- 21日 加茂野歩道橋しゅん工。
- 2日 美濃加茂ロータリークラブ認証状伝達。
- 9日 県下中学校選抜野球大会で、西中学校優勝。
- 15日 消防第四分団(蜂屋)に消防車入庫。
- 18日 市特設学級育成会発足。
- 1日 古井地区(神明・中央新町大業を除く)が、新しい住居表示へ切り替え。
- 5日 新青柳橋取付道路起工式。
- 1日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 23日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 22日 加茂野小プール完成、プールの開き。
- 20日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。
- 11日 飛騨・木曽川国定公園記念切手発売される。
- 7日 参議院議員通常選挙投票日 投票率八十一・六三%。
- 10日 「蜂屋の歴史」で、蜂屋小神保明郎先生自費出版
- 20日 下米田難産保育所しゅん工
- 11日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。

八月

- 21日 加茂野歩道橋しゅん工。
- 2日 美濃加茂ロータリークラブ認証状伝達。
- 9日 県下中学校選抜野球大会で、西中学校優勝。
- 15日 消防第四分団(蜂屋)に消防車入庫。
- 18日 市特設学級育成会発足。
- 1日 古井地区(神明・中央新町大業を除く)が、新しい住居表示へ切り替え。
- 5日 新青柳橋取付道路起工式。
- 1日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 23日 市議会第一回臨時会、一般会計に二千二百五十一万一千円の追加。
- 22日 加茂野小プール完成、プールの開き。
- 20日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。
- 11日 飛騨・木曽川国定公園記念切手発売される。
- 7日 参議院議員通常選挙投票日 投票率八十一・六三%。
- 10日 「蜂屋の歴史」で、蜂屋小神保明郎先生自費出版
- 20日 下米田難産保育所しゅん工
- 11日 日本ライン川まつり花火大会、ライン公園。

農協会館完成



八・一七災害の大きなツメあと



佐藤総理被災地三和を視察



高山線に特急「ひた号」走る



待望の西中学校校完成



(八月つづき)

第一回自治会対抗野球始まる、参加チーム四十。

この大会は、準決勝戦から八・一七災害のため無期延期となっています。

第十回岐阜県中学野球大会で西中学野球部優勝、春・夏優勝したのは県下で初めて。

二村化学工業KK岐阜工場公害調査開始。

八・一七集中豪雨、三和・伊深・山之上・蜂屋などを襲い、土地・家屋などの被害甚大。

死者七、負傷九、全壊十三、流失三、半壊二十、床

上浸水百二十六、床下浸水二百八十三、このほか土木災害、農業施設被害などで被害総額約十二億円。

飛騨川(白川地区)で、バス転落事故発生、行くえ不明百四人。

災害救助法発動される。

市産業観光会館は、バス転落事故犠牲者遺体収容所、中央公民館を遺体安置所にあて、消防本部、各分団被災者救護に出動。

市議会緊急議員協議会、自治連合会緊急理事会、被害が比較的小な地区から、三和地区へ奉仕隊派遣をさめる。

自衛隊守山駐とん地普通科大隊(百十人)被災地三和に到着、ただちに応急復旧工事にかかる。

政府調査団一行四十人被災地を視察。

自衛隊春日井施設中隊(四十人)、三和に到着。

衆議院災害対策特別委員一行十五人被災地を視察。

観光バス飛騨川転落事故遺体捜査のため、開電今度タム全ゲートをあける。

参議院災害対策特別委員一行十三人被災地を視察。

7日 福井夏季国体で、加茂高女

子ナックルフ・アー優勝。

この種では初の四連勝。

12日 佐藤総理被災地三和、被災地三和を視察。

岸市長、藤野勝一市議(地元)、市原伊代子(三和)総理に被災地の「声」を強く訴える。

保利建設、西村農林大臣市内各所で陳情をうける。

14日 市議会第二回臨時会、被災者に市税減免をさめる。

10日 加茂高二十周年記念式典、全国青年大会で美濃加茂女子バレーチーム三位入賞。

12日 美濃加茂明治百年記念式典、地方自治功労・高齢者など表彰、県の木「いちい」を植樹、民俗資料展、美濃加茂明治百年史発刊。

25日 「知事を囲む婦人の集い」市議会第三回定例会。

28日

7日 加茂高会館しゅん工。

10日 災害復旧工事始まる。

13日 青少年センター開所。

19日 西中学校しゅん工。

26日 古井雅道飼育所しゅん工。

市商工会運動会。

統計でみた国保事業

あなたは年四回受診 かかりやすい七八月

私たちが、日常生活を送っていくうえで、いつ、どこで、病気がケガをするか知れませんが、

したがって、この時思いがけない出費によって、生活のバランスがくずれ、苦境にたつことがあります。

そこで、お互いが助けあって、健康で明るい家庭を守っていくというのが、国民健康保険制度のネライです。

市の国保事業は、昭和三十四年四月から実施され、ことしでちょうど十周年を迎えたという事になります。

この間、国保事業は、数多く内容の改善が行なわれ、市民の健康が守られてきました。

今月は、国保事業のあしあとをふりかえりながら、このほど、保険厚生課でまとめた四十二年度の統計の中から、みなさんに最も身近かと思われるものを選んでお知らせします。

今月お知らせできなかったこと

受診件数		費用額
4,332	4月	9,759,391
4,771	5月	11,349,107
4,371	6月	10,213,022
4,941	7月	11,643,437
4,958	8月	10,952,360
4,470	9月	10,539,638
4,278	10月	9,896,210
3,863	11月	8,966,253
4,428	12月	11,319,374
4,127	1月	11,005,795
4,249	2月	11,317,288
4,384	3月	12,527,153

資料一保険厚生課

被保険者は（四十二年度）全市民の四割三分強

被保険者の加入状況をみると、当初三十四年には、全人口三万一千六百六十八人のうち、保険加入者が一万六千二百二人で、加入率は五十一・一％と高い数字を示しています。

しかし、昭和四十二年には、市内農村部にも、住民の一部が社会保険のある会社・工場などへ勤められるようになった（都市化現象）の大きな原因で、市全世帯に対する国保加入世帯割合は五三・九％、また、全人口に対する割合は四十三・四％と低くなっています。

このように、数字の移りかわりを見ても、いかに現代が激しく変化しているかがええます。

医療費は年々増加 受診率も高くなる

上の表は、みなさんが医療機関にかかれた月別件数と、その費用を表わしたものです。

図表でおわかりのように、七、八月の件数が多いのは、子どもさんが夏休みにはいり「休みのうちに歯科医へ」という結果からきています。

また、十一月は農繁期にはいるため、件数も少なくなっているのが目立ちます。

費用にしても、だいたい件数に比例した数字が示されていますが、三月だけは医療機関から年度末で整理されたものがでくるため、費用額が増えています。

ここで、みなさんが一年間に平均して、何回医療機関にかかってみえるか調べてみると、当初の三十四年度は二・〇二回となっていました。これが、四十二年には三・五八回、八千六百五十五円と大幅に増えてきています。

これは、みなさんが病気の早期発見・早期治療を意味するものでその反面、受診率の上昇と、診療一件あたりの費用額の増大で、医療費は増高をきたしています。

（次号は、保険料算出など）

健康メニ

インフルエンザはあなたをねらう

インフルエンザは、乳幼児小学生がいちばんかかる率が高く、次いで老人・壮年・青年の順となっているようです。

結局は、抵抗力の弱い年代がねらわれていますから、乳幼児、老人がみえる家庭は、嚴重な注意が必要です。

こわいインフルエンザにからないため、次のこと守ってください。

(1) 栄養をたっぷりとり、暴飲暴食をしないでください。という意味ではありません。栄養をじゅうぶんとすることは、からだ全体に防衛力をつけることにつながります。

カロリーの多いものを食べ体力をつくっておきましょう。(2) 疲労を防ぐ。病気に対する抵抗力をつけるには、まず、疲労を防ぐことが第一です。

疲労を防ぐには、なんといっても睡眠をじゅうぶんとすることです。

(3) ウガイをしよう。ウガイはのどについたウイルスなどを洗いおとします。



二学期を無事迎えました 自衛隊のみなさんありがとう

市内伊深町にある市立北中学校二年生38人は、11月13日、美濃加茂ライオンズクラブの世話で、8・17集中豪雨のあと、献身的な復旧・救済活動された、自衛隊春日井駐屯地を訪れ、お礼のことばと生徒たちから集めた菊の花束をおくりました。

この日のお礼訪問には、木村久夫校長、渡辺孝義先生をはじめとして、山くずれで生き埋めとなり、若い命を奪われた朝日己善君（北中三年）の遺影も友だちの胸に抱かれて参加しました。

生徒代表の朝日有一君は、高松博司二等陸佐ほか四人の自衛隊幹部に、「災害直後、これからはいったいどうなることだろうと心配していました。しかし、自衛隊のみなさんの活躍で、その感情も消え、無事二学期を迎えることができました。これからは、不幸にして亡くなった己善君の分もいっしょに勉強して立派な人になるよう努力します。自衛隊のみなさん、ほんとうにありがとうございました。」と力強くお礼のことばを述べました。（写真は岐阜日日新聞提供）

- （1）飲酒運転を追究しよう
市では、県から「飲酒運転追放」のステッカーが到着次第、各町の交通安全協会を経て、十二月十日ごろまでにみなさんのお手もとにお配りします。このステッカーは三・四輪車では、車両の左側の三角窓、二輪車ではヘッドライトの上につけてください。
- （2）無理な運転はやめよう
この二つについても、じゅうぶ

去年は95%がふだん着

市では、来年一月十五日の「成人の日」に、旧太田中体育館を美しく改装した「美濃加茂市青少年センター」で成人式を行います。

該当者には、一月五日ごろまでに、年賀状をかねて通知書を送る予定ですが、もし配達されなかったときは、もよりの連絡所が市教育委員会へ申し出てください。

該当者
昭和二十三年四月二日から、二十四年四月一日までの出生者
九十五%がふだん着

昨年までは、成人式に出席される女子の服装が、年々華美になってきていました。このため、該当者代表、自治会、婦人会、青年団らが話し合った上、「女子の服装はふだん着で」と呼びかけました。

この結果、成人式に出席された女子は九十五%以上が平服で、たいへん効果があがっています。来年成人式を迎える方は、必ず平服で出席するようにしてください。



年賀状は二十二日まで

郵便番号もハッキリと

美濃加茂郵便局

年末は、お歳暮小包や年賀状が一度に出まわりますので、次のことに協力ください。

◎年賀状は、十二月二十二日まで小包は、十二月十五日ごろまでにお出しください。

◎郵便物のあて名・差出人の住所は、詳しくハッキリ書いてください。

さい。あて名は、郡道府県市から番地まで、新しく住所表示で町名区域がきめられたところは〇〇番〇〇号まで正確に書いてください。

お子様・奥様の場合は、世帯主名をお忘れのないように。とくに、アパート・団地の場合は

「ひね」、寓、番号も記入してください。

また、新しく市内に転入・転居された方は、転入・転居届を郵便局に出してください。この届出がないと、郵便物の配達ができないおそれがあります。

◎郵便局の窓口には、年賀スタンプや、年賀状を料金別納される方に特設印、また、差し出しの年賀番号印も用意してあります

飲酒運転を追放 あなたの車にステッカーを

ただため、年末年始の交通事故防止運動として、次の三つを重点に呼びかけることになりました。

みなさんも、事故のない明るいお正月が迎えられるよう、よろしくご協力ください。

（1）飲酒運転を追放しよう
市では、県から「飲酒運転追放」のステッカーが到着次第、各町の交通安全協会を経て、十二月十日ごろまでにみなさんのお手もとにお配りします。このステッカーは三・四輪車では、車両の左側の三角窓、二輪車ではヘッドライトの上につけてください。

（2）無理な運転はやめよう
この二つについても、じゅうぶ

市では、来年一月十五日の「成人の日」に、旧太田中体育館を美しく改装した「美濃加茂市青少年センター」で成人式を行います。

該当者には、一月五日ごろまでに、年賀状をかねて通知書を送る予定ですが、もし配達されなかったときは、もよりの連絡所が市教育委員会へ申し出てください。

該当者
昭和二十三年四月二日から、二十四年四月一日までの出生者
九十五%がふだん着

善意は生きる

みんなでお正月

華やかな消費生活・文化生活という風潮にも象徴されるように、最近の生活水準は、五・六年前にくらべ確かに向上してきているようです。

市では、十二月一日から各連絡所と、福祉事務所窓口であなたの善意（義援金や品物など）を受けつけています。

しかし、その影にかくれ、社会の底辺に貧しくして暮らす人々も、私たちの周囲にはまだまだ多岐にわたります。

みなさんから寄せられた善意は、一家の主人が病気などのため生活に困っている家庭、あるいは両親のいない子ども、母子家庭、身寄りのない老人など恵まれない家庭に届けています。

歳末たすけあい運動は、こうした気の毒な人たちに、せめて「明るい年の顔」を「楽しいお正月」を、全国的に十二月一日から展開されている運動です。

恵まれない家庭にとつては、このみなさんの善意がどんなにか励みになるか知れません。

みなさんも、この運動を正しく理解して、「歳末たすけあい」に

ことしも、あつたずか。このあ

水道管やポンプが凍る。十二月も下旬になると、急な寒波で水道管やポンプが凍ることがあります。予防としては、外に出ている部分にわらか、布きれをまいておく効果がります。

また、万が一凍ったときの用意に、事前にバケツに水を用意しておきましょう。

火災の場合にも役立ちます。受けとりは早めに、市役所の一般支払いは、十二月

千余人の全市民が、同じように明るく楽しく迎えたいものです。

師走のくらし



十二月は、クリスマス・お正月の用意と、一年のうちでいちばん買い物の多いときです。

買物は市内で早めに、市役所の一般支払いは、十二月

◆ 年賀状にも市外局番を

ことしの年賀状には、見やすいかけやすい、電話番号表示を下の記載例の要領で、必ず書くようにしましょう。

美濃加茂電報電話局

謹賀新年
昭和四十四年元旦
郵便番号 〇五五
美濃加茂市 太田町 〇五五
電報 太田町
電話 〇五五
(〇五五二二) 五二二二

◆ 工業統計調査にご協力ください

製造業を対象に、ことしも十二月三十一日現在で「工業統計」の調査が行なわれます。

なお、この調査項目は、事業所の所在地・氏名・資本金・経営組織など十六項目からなっています。その内容は厳重に秘密が守られ、個々の調査票を統計目的以外に使用されることがありません。

◆ 掛金安い交通災害共済に加入を

市および市商工会では、ことし四月から交通災害共済加入運動をすすめてきました。

いまこそ、この実情を認識してこの交通共済に加入されるようおすすめてきます。

しかし、この呼びかけにもかかわらず、加入された方はわずかに過ぎません。

掛金は、第一種で個人が五百五十円から七百円。第二種が三百五十円となっています。(年掛金)被災者の共済金は、死亡したとき五十万円、以下傷害の程度によって支払われます。

◆ 八・一七豪雨災害見舞(追加)

多治見善意銀行
大垣共立銀行
明治興業KK

太田町一丸良菓子舗
太田町八坂製菓会
加茂農林高等学校教職員一同